

各種施策に向き合い、安全で働きがいある職場をつくるとともに
本部大会方針を実践し、組織強化・拡大に向けて奮闘することを確認！
～第2回系統別（工務）意見交換会～



2019年6月16日（日）、JR東労組青年部主催「第2回系統別（工務）意見交換会」を開催し、工務職場の仲間たちと様々議論をしました。

6月13日（木）に開催されたJR東労組第38回定期大会の報告と議論をし、大会決定された新生JR東労組の方針を1人ひとりが実践していくことを全参加者と確認しました。

また、「電気部門の変革2022」や「保線部門のメンテナンス体制の最適化」をはじめ、「通勤手当等の見直し」「賃金制度等の改正」など、「新たなジョブローテーションの実施」との関連性も含め、職場現実を出し合い議論しました。特に電気や保線職場では施策実施以降、パートナー会社に出向して「技術指導・支援」を行う苦労や問題点、超勤がさらに増加している現実などが出されました。

JR東労組が解明交渉で議論している内容や、意見交換会の議論を職場の仲間たちとも共有し、再加入の実践に繋げていくことの重要性を共有しました。

「安全・健康・ゆとり・働きがい」ある職場を1人ひとりの実践でつくり出そう！

